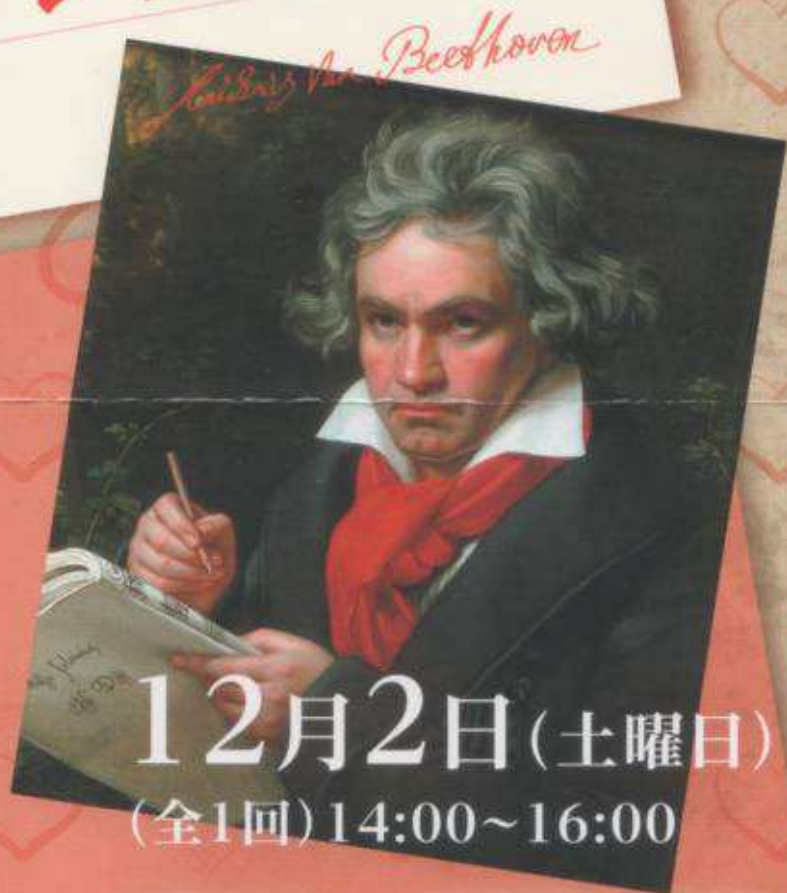


# ベートーヴェンの 音楽とラブレター



講師 ◆ 浦川 玲子

受講料 ◆ 3,000円

定員 ◆ 50名

会場 ◆ 882教室

内容 ◆ 生涯独身を貫いた作曲家ルートヴィッヒ・ヴァン・ベートーヴェンが、ロマンチックな恋愛観の持ち主であったことはあまり知られていません。1802年から1812年の間にベートーヴェンが書いた音楽作品や「手紙」を知ることを通して、若く情熱的なベートーヴェン像に迫ります。

目的 ◆ ベートーヴェンが22歳でウィーンに移住して以降、1802年から1812年の間に交響曲「運命」や歌劇「フィデリオ」などの有名作品を次々と発表するかたわらで、崇拜する女性たちへあてて書いた手紙、あるいは相手から送られた手紙が残されています。それらの手紙の一部を取り上げ、書かれた内容を細解き、ベートーヴェンの恋愛観の一端を探ります。さらに、その時代にベートーヴェンが作曲した作品の中に作曲家自身の心情がどのように反映されているかについて、音楽専門家そして女性の目線から解釈していくことを目標とします。

持参物 ◆ 筆記用具 ※資料は当日配布します。

12月2日(土曜日)  
(全1回) 14:00~16:00

## ♪ 講師紹介

うらかわ れいこ  
浦川 玲子  
東邦音楽大学専任講師



東京音楽大学卒業。ウィーン国立音楽大学卒業(首席)。オーストリア国家ピアノ教授資格取得。日本大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。1996年第19回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクール(イタリア)特賞受賞、日境文化協会主催「フレッシュコンサート'99」優秀賞受賞。専門分野はピアノと早期音楽教育。ソロリサイタルや様々なアンサンブル演奏、ピアノコンクール審査などで活躍中。特にピアノ演奏では、現ウィーン国立音楽大学教授S.アーノルド氏、恩師V.トイフルマイヤー氏と共演。ウィーン国立音楽大学留学時代から日本-オーストリア間の国際交流に深く関心を持ち、通訳を講師としてさまざまな形でウィーンと関わりながら現在に至る。CD「愛の夢」[シューベルト即興曲集(全曲)]をリリース。現在、東邦音楽大学専任講師、日本演奏連盟、日本ピアノ教育連盟、日境文化協会、国際ピアノデュオ協会、府中国際友好交流会、各会員。2017年2月より、ふじみ野市生きがい学習推進計画審議会委員。埼玉県三郷市在住。

後援 PINA 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問合わせ  
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター